

[illegible]

看護学科 小児看護学実習 実習記録Ⅱ 【一日の実習計画表】

年 月 日 () 実習 日目

実習場所 (病棟病室 ・ 新生児室)

学籍番号

学生氏名

担当指導者

③対象と家族の望ましい姿

④目標

① インパクト
注目していること

② 理由

⑥カルテ、観察、関わり等、得た情報から状況と状態を分析し、実施の評価をする (SOAP)

⑤計画

学生の行動計画

8:30

9:00

10:00

11:00

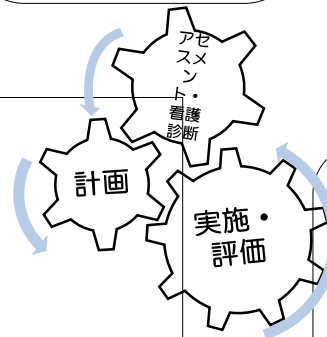
12:00

13:00

14:00

15:00

対象を観察する視点、援助計画の方法や内容・
工夫や配慮する点



⑦本日の目標に対するリフレクション
(場面や状況を詳しく記述し、小児看護で大切にしたいと考えたことを表現しよう。)

指導者さんからのアドバイス
(学生が記述する)

ラベル貼付

- * 常在条件 (①成長発達の側面：身体発育の評価・児の発達の様子・生活の自立度 ②社会面・心理面・家族関係)
- * 病理的状态 (①疾病像を理解するための基礎知識 ②入院目的と治療の内容 ③入院から受けもつまでの経過と予後)
- * 患児や家族の望ましい姿、看護上の問題点と看護の方向性

担当看護師：

年 月 日 () 外来実習 () 日目 学籍番号

学 生 氏 名：

本日の目標 AM： PM：		
実 習 計 画		外来実習で出会った子どもとその家族の様子から感じたこと、気づいたこと (来院した理由をとらえ、子どもや家族の発達段階を視点に考えてみよう)
時 間	実習内容・体験したこと	
小児科外来における看護の役割について気づいたこと、学んだこと		
指導者からのアドバイス (学生が記入する)		指導者サイン

学籍番号

氏名

年 月 日 () 実習 日目 担当クラス:

＜今日の目標＞

課 目

観 察 記 録 (こどもや家族の様子、反応)

時間

生活行動

学んだこと、気づいたこと

教員
サイン

学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一歩努力を要する
社会の中で暮らす小児やその家族について理解する	小児の成長発達の特徴を理解し、様々な状況にある児や家族の健康状態を表現している	対象理解 探求心	事前学習 実習記録 カンファレンス発言 実習状況 面接	小児の成長発達段階や日常の暮らしをふまえ、小児や家族の身体・心理・社会的な健康状態を基礎的知識と関連させて解釈している。 20	小児の成長発達段階や、小児とその家族の健康状態について解釈している。 15	小児の成長発達段階や、健康状態について情報収集している。 10	小児の成長発達や健康状態の特徴を表現している。 5
小児の成長発達を促すための取り組みを実践する	小児の成長発達段階や個性に応じた援助を考え実践している	対象理解 実践力 調整力	事前学習 実習記録 カンファレンス発言 実習状況 面接 調整状況	小児やその家族の望ましい姿の実現にむけ、根拠に基づいた援助を実践し、小児の個性を捉えて、より良い関わりに発展させている。 25	小児の発達段階や健康状態に応じた必要な援助を考え、安全に配慮して実践している。 15	気づきを視点に、対象者に必要な援助を実践している。 10	看護師が行う援助を、指導者と一緒に実践している。 5
小児の権利を護るための行動をする	小児の権利を理解し、倫理観をもって小児やその家族と関わっている	実践力 倫理観	実習記録 カンファレンス発言 日々のラベル プロセスチャート 実習状況 面接	小児の体験していることをありのままに捉え、小児や家族の生活上の信条や価値に注目し、思いや考えを尊重して関わっている。 20	小児の発するサインに気づき、小児の欲求に応じる関わりをしている。 15	小児との関わりを通し、小児の権利擁護の必要性について注目した発言がある。 10	小児の尊重すべき権利について、理解したことを表現している。 5
自己の小児看護観を表現する	小児や家族との関わりを通して自己の小児観を深め地域社会における小児看護の役割を表現している	探求心 倫理観	日々のラベルとプロセスチャート 実習状況 レポート・面接	日々の様々な体験から自己の小児観を深め、地域における小児看護の役割を表現している。 20	実習体験をもとに、小児看護の役割を表現している。 15	日々の実習体験を振り返り、得たことを表現している。 10	自己の体験を表現している。 5
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。	医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るために適切な行動を取り、仲間の模範となりチームをけん引している。 15	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。 10	社会的規範は守っているが、看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る意識が低い。 5	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している。 0

欠課時間

()時間／90 時間

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点